

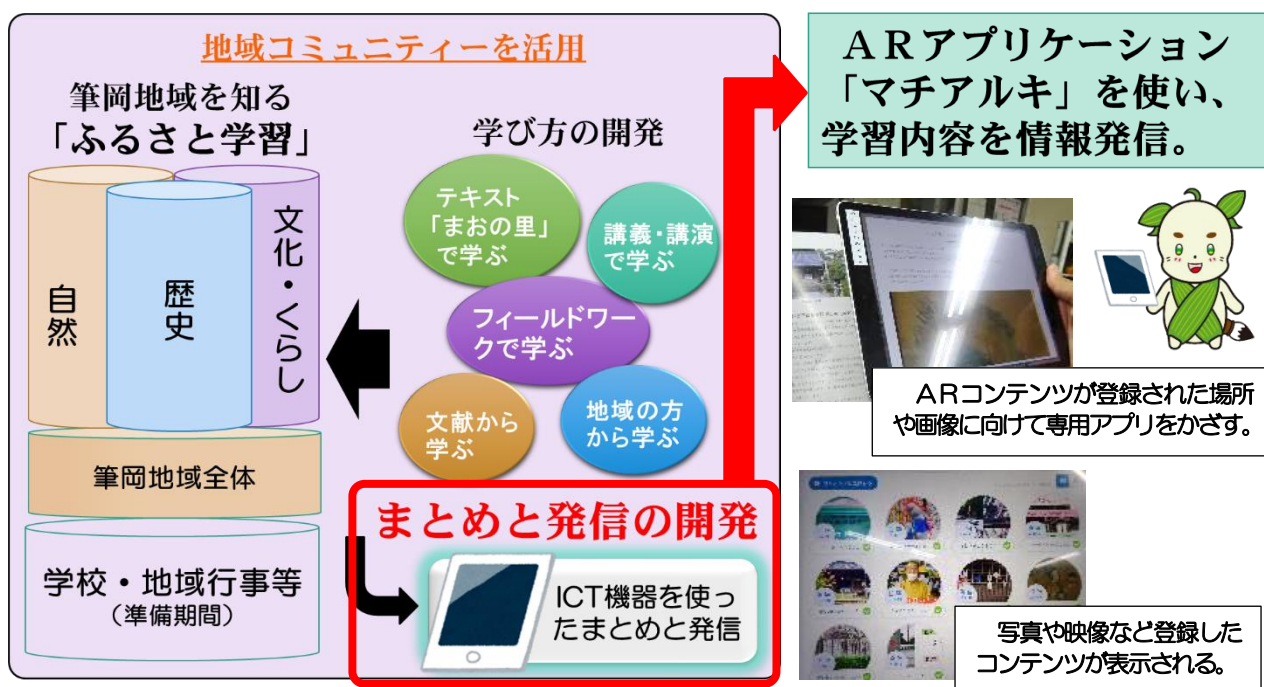
1 研究主題

地域ふるさと学習の発信方法としてのICT機器の活用について

2 研究の具体

筆岡は、自然や歴史が豊富な地域である。本校では、その恵まれた自然や歴史、そして文化や暮らしについて学び、知る「ふるさと学習」を令和2年度から実施している。


今年度は、「学びのまとめ」において調査、研究をした地域の自然、文化、歴史などを、ICT機器を使って、発信する。子どもたちは内容の吟味、精選をくり返し、いかに分かりやすくまとめるかを考え、ARアプリにアップすることで、自分たちの学びを広く公開できる。テキストには掲載されていない、子ども目線の疑問等に子どもたちが更なる調査を加えて、新たな見解を発信することで、よりオリジナリティのある情報提供を試みる。3学期の学習参観日で、保護者に発信する予定である。



視点1 ICT機器の有効性を生かし、学びをより効率的にまとめ、発信する。

視点2 ワープロ（文章）、画像（場所・資料）、動画（インタビュー・フィールドワーク）を活用した発表コンテンツの作成。

視点3 通信機器（ARアプリケーション）を活用した発信。



3 研究の検証方法

- ワープロ機能・画像・動画機能を活用し、まとめ、発表コンテンツを作成できる。
- ARアプリケーションを使って保護者を案内できる。
- 保護者の感想等を評価対象とする。